

令和 7 年度事業報告書

自 令和 6 年 11 月 1 日
至 令和 7 年 10 月 31 日
公益社団法人日本水彩画会

令和 7 年度は、一部の事業を除き事業計画に基づいて第 112 回日本水彩展をはじめ、その他の諸事業を公益社団法人としての使命感をもって着実に推進した。

本会の現況および令和 7 年度事業の実施状況は次の通りである。

【 本会の現況（令和 7 年 10 月 31 日現在）】

(1) 正会員・会友

正会員 311 名（内 理事 12 名、監事 2 名、評議委員 14 名、
顧問 名、参与 2 名）

理 事 茅野吉孝(理事長)、滝沢美恵子(常務理事)、吉田利弘(常務理事)、
大岡澄雄、小沢優子、小野月世、加藤 英、小島文雄、柴崎寛子、
中村恵美子、根岸尚徳、李 志宏（12 名）

監 事 伊藤公一、今成建史（2 名）

顧 問 （ 名）

参 与 碓田順彦、斎藤俊子（2 名）

評議委員 栗飯原栄子、石山 克、小野道子、河村純正、小竹 昇、時津里江、
仲井早人、新倉秋夫、灰谷敏子、松田節憲、松永 弘、水野晃一、
三輪富美子、本橋泰子（14 名）

会 友 314 名

(2) 支部状況

現在 50 支部。それぞれ展覧会、研究会、写生会など地域活動に努めている。
（徳島県支部は活動休止中）

【 公益目的事業 】

I. 展覧会事業

1. 第 112 回日本水彩展

(1) 展覧会概況

会 期 令和 7 年 6 月 23 日～30 日 会場 東京都美術館

陳列総数 1,186 点（1,186 名）

内 訳 正会員 274 点（含遺作 2 点）、会友 276 点（含遺作 1 点）

一 般 635 点（入選 570 点、高校生 65 点）

一般応募状況

応募総数 647 点（含高校生 65 点）応募都道府県 39 海外 1

入 選 570 名（初入選 95 名） 入選率 88.2% * 高校生出品 65 名

遺作展示 会員 児島祥子、原 爲蔵

会友 鈴木幸治

入場者 10,669 名

(2)授賞者

会員 河村純正（内閣総理大臣賞）、仲井早人（文部科学大臣賞）、
大竹良夫（東京都知事賞）、芦野信司、内田邦子、矢作道子、
渡辺明子（以上会員奨励賞）

会友 工藤幸俊（会友優秀賞）、青木三千代、倉本寿是、佐々木脩、谷口紳一、
内藤和高（以上会友奨励賞）、李想（SOMPO 美術館賞）

一般 徳幸道（日本水彩画会賞）、何穎（大下藤次郎賞）、大川美智子（石井柏亭賞）、
大鹿秀雄（丸山晚霞賞）、山本智子（古賀春江賞）、佐藤明宏（三宅克己賞）、
川内隆則（石井鶴三賞）、鈴木三千彌（中西利雄賞）、伊藤麻衣子、上田守、
柿原和子、胡瑋、後藤拓、齋藤繁、志水弘毅、竹田恵美子、田中廣悦、
堀部千鶴、村田修、李偉（以上奨励賞）

高校生 鈴木愛佳里、大山榛菜、三橋ななみ、齊藤優那（以上審査員賞）

(3) 授賞式 令和7年6月27日 上野精養軒

(4) ギャラリートーク 令和7年6月28日

(5) 後援 文化庁および東京都

(6) 審査員

理事、監事（14名）

委嘱（15名）

新井次男、鵜飼しをり、梅原絹子、川口明美、北野清子、佐藤玉枝、鈴木知子、
其田章、田中順子、堤和之、橋本邦彦、藤村喜美子、松尾優美、三輪富美子、
毛利由美子

外部審査員 橋本善八（世田谷美術館 館長）

平泉千枝（渋谷区立松濤美術館 主任学芸員）

(7) 新会員（25名）

青木三千代、芦野千枝里、後村とも子、安部隆、池田宏邦、石川揚子、
石塚久仁夫、伊藤栄子、岩崎ナギ、太田能章、河村勝、倉本寿是、佐竹隆弘、
重本泰子、清水しづ子、菅原さち子、谷口紳一、内藤和高、浜田峰子、
濱田保子、林澤野、村松泰弘、山田千恵子、吉澤公子、吉田尚子

(8) 新会友（48名）

阿部宏、井越正喜、大鹿秀雄、大橋常男、北村明美、胡瑋、小泉禮子、後藤拓、
齋藤繁、坂田順司、坂本秀整、椎名初枝、清水富士夫、下村市子、杉本繁久、
鈴木秀雄、鈴木三千彌、宗口文夫、田崎弘文、田中廣悦、冨成正利、鳥澤直之、
中津房子、中村信仁、西本映子、野崎よし子、濱福秀夫、福岡紀幸、福島和幸、
福本眞智子、星野昇司、細田哲資、堀田信夫、堀なお子、堀部千鶴、榊村郁治、
三沢名保美、光元良枝、南美智子、宮澤愛子、宮下チヨミ、村上篤、村田修、
山田正子、山本智子、横澤雅子、吉岡義昭、吉田光子

2. 地域巡回展

- | | | |
|-----------|----------------------------|-------------|
| (1) 仙 台 展 | 令和 7 年 7 月 11 日～7 月 16 日 | せんだいメディアテーク |
| (2) 名古屋展 | 令和 7 年 7 月 23 日～7 月 27 日 | 愛知県美術館 |
| (3) 広 島 展 | 令和 7 年 8 月 12 日～8 月 17 日 | 広島県立美術館 |
| (4) 京 都 展 | 令和 7 年 9 月 2 日～ 9 月 7 日 | 京都市美術館 別館 |
| (5) 松 山 展 | 令和 7 年 9 月 24 日～9 月 28 日 | 愛媛県美術館 南館 |
| (6) 熊 本 展 | 令和 7 年 10 月 15 日～10 月 19 日 | 熊本県立美術館 分館 |

3. 日本水彩選抜展

第 2 回日本水彩小品選抜展 令和 7 年 2 月 25 日～3 月 2 日
銀座洋協ホール

II. 研究事業

1. 日本水彩画会研究所 休止

2. 作品研究会

- | | | | |
|--------|-----------------|---------------|----------|
| (1) 東北 | 令和 7 年 4 月 26 日 | 東京エレクトロンホール宮城 | 受講者 73 名 |
| (2) 関東 | 令和 7 年 4 月 14 日 | 入谷ホール | 受講者 24 名 |
| (3) 中部 | 令和 7 年 3 月 20 日 | 愛知芸術文化センター | 受講者 68 名 |
| (4) 近畿 | 令和 7 年 4 月 27 日 | 京都教育文化センター | 受講者 61 名 |
| (5) 中国 | 令和 7 年 3 月 22 日 | 広島市東区民文化センター | 受講者 58 名 |
| (6) 九州 | 令和 7 年 3 月 30 日 | 熊本城ホール大会議室 A | 受講者 50 名 |

3. 写生研究会

第 157 回秋の写生研究会 令和 6 年 11 月 14 日～16 日
熊本県南阿蘇

4. 地域講習会 中止

【 収益事業 】

1. 展覧会図録の発行

第 112 回日本水彩展図録を 6 月 23 日に発行。作品 1,186 点を収録

【 その他の事業 】

1. 会誌「日本水彩」の発行

204 号を 4 月に、205 号を 9 月に発行

2. 懇親会の開催

- (1) 総会懇親会 1 月 10 日実施
- (2) 日本水彩展審査員懇親会 6 月 11 日実施
- (3) 日本水彩展出品者懇親会 6 月 27 日実施

3. 支部長会の開催

令和 7 年 6 月 28 日 10 時～12 時 東京都美術館講堂
出席者 理事長、常務理事、各支部長（代理出席を含め 31 支部）

4. 支部奨励賞の提供
申請に基づき 33 支部に提供

【 管理業務 】

1. 定時総会
令和 7 年 1 月 10 日 会場 東京都美術館講堂
出席 39 名 委任状 188 名 計 227 名
議事 令和 6 年度事業報告書および収支決算報告ほか
2. 理事会 7 回
(令和 6 年 12/5、令和 7 年 1/28、3/24、6/14、7/15、9/2、10/27)
3. 評議委員会 4 回 (令和 6 年 12/5、令和 7 年 3/24、6/14、7/15)
4. 業務機械化プログラムの整備・フォロー
展覧会出品者履歴管理などのデータベース化

【 動 静 】

- (1) 死去 会員 4 名 会友 1 名
- (2) 退会 会員 19 名 会友 18 名
- (3) 資格喪失 会員 1 名 会友 2 名

(4) 支部長交代

湘南支部	(旧) 鈴木 知子	(新) 植田 明雄	令和 7 年 1 月 1 日
宮城支部	(旧) 松永 弘	(新) 和田 三夫	令和 7 年 2 月 1 日
庄内支部	(旧) 鈴木 幸治	(新) 工藤 祐吉	令和 7 年 4 月 1 日
安足支部	(旧) 村田 安旦	(新) 小林 博	令和 7 年 4 月 1 日

(5) 支部廃止

筑後支部	令和 7 年 3 月 31 日
岐阜支部	令和 7 年 9 月 30 日